

意見交換会（4班）

＝Ｔ－Ｚ＝ 柏崎市の部活動はこうなる！

過去

現在

未来

親が関わってなく家で反省会なし

親は無頓着。子供の活動にあまり関わらなかった

大学時代先輩が怖かった（正座、説教1時間）いい思い出

〇からスタートする種目が入りやすい

学校の様子がわからない

親が関わってきて子どもに安息がない

理想と現実 ・子どものスポーツ離れ・勝利主義と生涯スポーツ・指導の難しさ（コンプライアンス）

小～中～高のつながりを持たせる必要があるのか

外部指導者の基準がないため学校も依頼できない

学校対抗から抜け出せない

昔と今の大きな差 ・子どもの数の減少・情報の多様化・環境

子どもたちにくまなく野球の指導ができるよう、教員・外部指導者共に頻りに合同練習を行う。

外部指導者は学校の様子を理解すべく授業参観に参加する。

外部指導者は各競技団体に委ね、育成（資格取得など）してもらおう。

強くなるためであれば厳しい指導（体罰）もありなのではないか。

中学校でも指導に親を参画させる。ただし指導に口出ししないルールをつくる。

運動施設の有効活用。学校体育館やコミセン体育館との連携

中体連、高体連の解体

部活の解体（単一クラブ・総合型クラブ）

地域の良さを感じながら部活に打ち込む（施設・指導者）。

問題

少子、施設（公共、学校）

練習や大会が多くて子どもも親も忙しい

施設の老朽化によるモチベーションの低下

課題

子どもの要求と要望の満足を考えながら指導

地域にいるであろう経験者の活用の検討

バス運搬、専門家指導、雇用

経済的な負担

夢

幼少期からのスポーツに親しむ環境づくり

指導方法が指導者により差が無いように

施設整備、競技クラブ運営、資金調達（企業）等の一元化